

広島県内科会講演会に出席して

病院長 ^{どこう ひまお} 土光 文夫

9月16日、台風18号、10月16日、台風26号が日本列島の所々に深い爪痕を残して去った。幸い当地方は台風の影響もなく爽涼の秋を迎えた。昔から行楽の秋、読書の秋と言われているが、国内は来年4月よりの消費税の増税、経済再生への成長戦略、T.P.P等への政治的な不安が漲り、なかなか秋の実感を伴わない。

私達に直接関係している消費税8%の増税で、来年4月よりの診療報酬改定はどうなるか、9月14日、広島医師会館で中医協委員、安達季樹氏の特別講演が、広島県内科会学術講演会で行われたので出席した。

要旨は、1)日本の診療所の実態 ①諸外国に比べて高度の診療機能を持っている。②在宅医療の担い手である。③かかりつけ医としての機能を果たしている。

2)費用対効果、費用対効果評価の結果はICERで表すことが一般的で、ICERは「1単位の効果」(生存率、QALY等)を獲得するのに必要な費用である。

評価指標ICER (Increased Cost and Effect Rate)

例えば、
$$\frac{\text{新薬の薬価} - \text{従来薬の薬価}}{\text{新薬の効果} - \text{従来薬の効果}} = \text{ICER}$$

(分母となる効果指標が議論の焦点)、日本において評価結果をどう用いるかこれからの議論。

3) 消費税の医療機関負担

8%引き上げ時は、従来通り「医療非課税」として診療報酬で対応⇒初・再診料、入院基本料に上乘せ(?)
10%引き上げ時までにより方を検討 ①課税業種として「ゼロ税率」の「軽減税率」②非課税での還付方式

紙面の都合上、一部のみ掲載したが、最後に、政府の社会保障費の増大への対応と説明された消費税の引き上げに拘わらず、多くの削減の方向性が盛り込まれた法案に対して国民の反発が予想されると結ばれた。

以上、来年度の診療報酬改定に消費税問題も関わる現状を述べられたが、難解でしたが有意義であった。

(H25.10.28記)

医療、介護現場で発生した
理解に苦しむ
「広島弁!」



元広島シーサイド病院職員 向井尚之

私は20年近く、デイサービス等の施設で介護を体験してきた。思った以上に大変な仕事で常に体力勝負だった。そのせいか？ 将来介護を必要とする高齢者は増える一方なのに介護職の人気は下がり、外国人の介護職員が多くなると伝え聞いている。そこで思うのが、入浴、トイレ、食事などの介助だけでなく徹底した安全衛生管理も心掛けなくてはならないのに、本当に利用者との意思の疎通が図れるのか？ 大変心配している。

同じ日本人でありながら若者と方言を多発する高齢者の中で意味を履き違えて全く反対の対応をすることがあり、大変危険な「広島弁」もある。ストレッチャーからベッドに移る時、もうちょっと「サゲー」(提げろ)と言ったのに相手は下げてしまい危うく落下しそうになった。「提げー」「下げー」アクセントの違いだけで全く反対語になる。共同作業の時はしっかり確認をすることが必要である。

私達が子供の頃には「コクバ」(松の落葉)を「サデル」(かき集める)のが重要な仕事だった。コクバがないと食事、風呂の炊き付けができないからある。そのついでに松茸をたくさん採って帰っても喜ばれることはなかった。燃料革命によってコクバをサデル行為は無くなり、松林も荒れ松茸も生えることなく今は貴重品となった。方言で出身がわかる「方言は国の手形」と言われ、分かりやすい例えだと思つと同時に年齢もほぼ分かり親しみを感じる。

※現場で体験した「広島弁」

- ・○○さんがトイレで「オラビ」(叫び)よるけん行ったら「ツクパッテ」(しゃがむ)「アズリマーテ」(苦しみ回って)「モトーラン」(役に立たない)ことばかり言つて「コトナラン」(うまくいかない)！ チリ紙も「サバイテカラ」(とり散らかし)「ワヤニシトラー」(無茶苦茶にしている)。早く行ってくれ！
- ・バイタルチェック前に…トイレに行くけん今から「ハナエテ」(始めて)くれ！ だめなら「ドベ」(びり)でー！ この体温計「メゲトル」(壊れている)。とデジタル表示に「88.8」を見て体温計を振り提げようとする。そのため机にぶつけて壊す人がいる。
- ・袖口が破れたけん「ポロゼンタク」(裁縫)してくれ！ と脱いだら洗いやがった！ 今頃の娘は「ナンジャワナイノー」(話しが詰まった時に使う言葉)。まあ、今日は「フ」(運)が悪かったんじゃろーて。
- ・看護師の○○さんは「マメ」(頻繁)に気を使ってくれるが「カバチタレ」(理屈言い)じゃし「ゴーナ」(苦勞)なことばかり言うし、部屋から出る時も戸を「タテイテクレ」(閉めてくれ)と言うのに返事もせんし、そのまま帰るんで。「エガワリー」(愛想がない)人じゃ。「ホイジャケー」(それで)「ワシャー」(私は)「ハブテタ」(ふてくされた)「フリュー」(ふるまい)をしとるんでー。
- ・○○さんは「ショートギモ」(臆病者)じゃろうのー。「イツイキ」(いつも)はあー死ぬんじゃろー、と言うて泣きよりんさったが、「ダイショー」(少し)は慣れんさったんかの。「イングリモングリ」(くねくね)しんさるが、ワシも「エータイ」(とかく)「アンケツクー」(のんびり)とるけん、今頃は「エツ」(たくさん)話しもせんよー。
- ・○○さんはどこへ行った？ と聞くと「クジュークリ」(不満を言う)よったけん、「ホボローフツタ」(無断で里に帰る)かのー？ なんじゃいうて、そがーに「ネンダークル」(質問責め)んかいのー？
- ・○○さんはハサミを「エツ」(たくさん)ポケットに入れたで！「イナゲナ」(変な)人じゃのー。転げたらケガをするでー。「イビセー」(恐ろしい)のー。「コスイ」(ずるい)人じゃけん持っとらん言うんじゃろーの。
- ・○○さんは転げることはないのですか？ の問いにここじゃ転げん。家では？ の問いに家じゃ「ショツチュー」(頻繁)「コロゲトル」(横になり休む)。ほんまに転げりゃーどこか「シニイル」(青あざ)つとるじゃろ？
- ・「コガニ」(こんなに)「エツ」(たくさん)食べれん！ 先に「マンマンサン」(仏さん)にはあげたんか？「ワシヤ」(私は)年じゃけん「シワイ」(固い)物は顎も痛とうなるし、歯も「キニョー」(昨日)から「ハシル」(神経の痛み)し「ハブ」(歯茎)も「ウズキ」(化膿する痛み)よる。「ホイデ」(それから)から「ペロ」(舌)の奥の方も「ニガル」(疼痛)んよー。と広島弁は口のなかだけで4種類を使い分ける。
- ・○○さん、点滴の薬がなくなったら教えてね。「ミテタ」(無くなる)ら呼ぶんじゃの？
- ・訪問し帰ろうとしたら「ハー」(もう)「イヌル」(帰る)んね？「コマイ」(小さい)ひ孫が「イキリ」(はしゃぎ)回り、「サバイトツタ」(散らかしていた)けん、「ナンノ、エガオモセント」(なにのおかまいもできません)と、すみませんの。
- ・マツダの車にサバンナというのがあるが、ありゃー「イロウ」(さわる)たら「イケン」(駄目)ということかいの。

高齢者は言葉がはっきりしないので、聞き違えている「広島弁」もあるかもしれないが、もっと多く的高齢者と会話する機会を増やし、間違つた対応で事故のないようにしたい。

祝 敬老の日 ~おめでとうございます~

敬老の日を迎えられた皆さん、おめでとうございます。

シーサイド病院では、病棟やデイサービスなどそれぞれの部署で、敬老の日のお祝いの会を開きました。患者様・利用者様に喜んでいただけるように職員が奮闘しました!



コラム

「医療・介護の鳥瞰」

リハビリセンター長 松田 誠

◎介護保険・要支援者向けサービスの見直し

政府の社会保障制度改革国民会議の論点整理で、介護度の必要性が低い「要支援1」「要支援2」と認定された人向けのサービスを将来、介護保険制度から切り離す事も含めて見直していく方針を固めた。

その背景となるのが、介護費用及び介護保険料の問題が挙げられる。介護費用では、2010年度で約7兆8000億円が、2025年度で21兆円程度となり、介護保険料においても、65歳以上の全国平均の1ヶ月の保険料が、2000年度が約2900円、2013年度が約5000円、2025年度は8200円程度と予測されているからである。

今後、要支援者向けサービスは、介護保険給付から市町村事業に移行し、ボランティア、NPOの活用など検討していく方向である。ただ、市町村の財政状況により地域間格差は否めないであろう。その他、保険給付外で考えられることは、特定健診、特定保健指導の一部に組み込み、自立支援していく方法や自己責任の下、各自でスポーツセンター、老人クラブに参加し、健康維持に努める、又、要支援状態になれば、各自でサービス事業者と契約し、自己負担でサービス提供を受ける等考えられる。

今後、社会保障制度そのものが厳しい状況になることから、今まで以上に自己責任、自己負担が必要となるであろう。

接遇研修会

サービス向上委員会 委員長
薬剤師 星 尚子

この度、平成25年9月24日と26日の二日間にわたり院内で接遇研修会が開催されました。この研修では研修インストラクターの先生により院内のラウンドを行い、実際に職員が行っている接遇の態度を指摘してもらいました。職員同士の患者様への言葉遣いなど様々なところをチェックしてもらうことで日頃どのような点に気を配りながら業務を行うべきかの規範となりました。職員一同身が引き締まる思いです。当病院の理念にもあるように常に患者様とご家族の立場に立って考え行動できるよう職員一同頑張りたいとおもいます。



脳の若返り

「ボケを撃退」トレーニング

⑫

理学療法士
古川 陽子

日記を書こう!!

デイサービスで働いていると「すぐ忘れるから日記をつけているの」というご利用者様のお話をよく聞きます。日記といっても、その日あった出来事を簡単にメモ書きしているようです。日記を書くということは、側頭葉の血流を良くし、エピソード記憶(思い出す機能)を鍛える効果があるようです。トレーニングということでは、1日遅れ、2日遅れ、3日遅れ…の日記をつけることもオススメです!!



長い文章を書くのがイヤな人には一行だけ!! もオススメです

__月__日 天気 __

信頼される医療・福祉をめざして…

■基本理念

◎常に患者様とご家族の立場に立って行動し、医療・保健・福祉の分野で連携充実を図り、地域のニーズに応えるよう、職員一同頑張ります。

外来案内のご案内 休診日/土・日曜日、祝祭日、盆、年末年始

●内科・リハビリテーション科・放射線科

診療時間	月	火	水	木	金
9:00~11:30 13:00~16:00	岡田	上杉	池田 沖田	山本	中村 上松瀬

●神経内科

診療時間	月	火	水	木	金
9:00~11:30	湯川	湯川		湯川	

医療法人 和同会

広島シーサイド病院

診療科目/内科・神経内科・リハビリテーション科・放射線科
療養病床330床(医療157床・介護173床)
〒734-0012 広島市南区元宇品町26-20
TEL (082) 255-1010 FAX (082) 255-6826
<http://www.ss.wadoukai.jp>

- 通所リハビリテーション(定員45名) TEL (082) 252-2781
- 訪問看護ステーション ハローナースシーサイド TEL (082) 255-1424
- ショートステイ元宇品(定員30名) TEL (082) 255-1221
- 元宇品居宅介護支援事業所 TEL (082) 255-1422
- グループホーム元宇品(定員18名) TEL (082) 255-1239
- デイサービス元宇品(定員30名) TEL (082) 255-1271

■基本方針

- ◎信頼され、安全性の高い医療サービスを目指すため、職員の研鑽と協調に努めます。
- ◎患者様、ご家族、職員がお互いに尊重し合い、ともに喜び、生きがいもてるようチーム医療を推進します。
- ◎地域に根ざした、住民とともに歩む病院を目指します。
- ◎病院の質を高め、健全経営に努めます。
- ◎職業を通して、社会人としての豊富な人間性を養います。



- バス/広島バス21号線(宇品線)シーサイド病院入口バス停より徒歩5分
- 電車/広島電鉄宇品線元宇品電停より徒歩10分
- タクシー/広島駅より元宇品方面へ約30分

編集後記

今号では、敬老会の写真を掲載させていただきました。写真提供を協力して下さった各部署の皆様、ありがとうございました。敬老の日前の9月13日に広島県が県内の100歳以上の人数を発表していました。昨年に比べ89人増え1,662人で、29年連続で過去最多を更新したそうです。広島県以外でも増加しており、全国を見ても過去最多の281,699人でした。自分が100歳まで生きるとしたらあと…年と思うと、気の遠くなる年月であり、若い私達が知らない激動の時代

を生き抜いてきた方達を見ると、本当に敬服します。元気で長生きしてください。

異常とも言える猛暑が終り、やっと涼しい季節になった…かと思つくと、また暑くなり10月なのに真夏日を記録し、更に今年は台風が多く…そして急に冬の足あとが聞こえてきました。快適に過ごせる日は続かないものですね。気温の変化に体がついていけない、という人も多いかと思います。体調管理に気をつけて短い秋をお過ごしください。